

参加募集

2011 日独学生青年 リーダー交流

○趣旨

青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図ります。

○研修テーマ

若者の社会参画

○日程

平成23年9月13日(火)～9月27日(火)
15日間

○募集人員

18名



○応募資格

日本国籍を有し、平成23年4月1日現在18歳以上26歳以下で、青少年団体（青少年の健全育成を図るために青少年を組織し、活動を行う民間団体）等で、リーダーとしてボランティア活動や社会貢献活動を行っている短期大学、専門学校、高等専門学校、大学、大学院等の学生
※語学能力は問いません。

○参加金

109,000円



〈問い合わせ〉

国立青少年教育振興機構 国際・研修支援課
〒151-0052

東京都渋谷区代々木神園町3-1

電話 03-6407-7751

<http://www.niye.go.jp/services/plan/education/services.html>

E-mail: honbu-kokusaisien@niye.go.jp



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

文部科学省委託事業

日独学生青年リーダー交流 派遣事業 募集要項

研修テーマ：「若者の社会参画」

● 趣旨

青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図ります。

● 日程

事前研修会： 平成23年 8月 6日(土)～ 8月 7日(日) 1泊2日

合宿セミナー： 平成23年 8月26日(金)～ 8月28日(日) 2泊3日

派遣事業： 平成23年 9月13日(火)～ 9月27日(火) 15日間

※ 合宿セミナーでは、ドイツの学生青年リーダーと寝食を共にし、意見交換等を行います。

※ 事前研修会・合宿セミナーの会場は、国立オリンピック記念青少年総合センター(予定)です。

● 募集人員 18名

● 応募資格

- (1) 青少年団体(青少年の健全育成を図るために青少年を組織し、活動を行う民間団体)等で、リーダーとしてボランティア活動や社会貢献活動を行っている短期大学、専門学校、高等専門学校、大学、大学院等の学生
- (2) 日本国籍を有し、平成23年4月1日現在、18歳以上26歳以下の方
- (3) 心身が健康で協調性に富み、研修計画に従って規律ある団体行動ができる方
- (4) 派遣事業・事前研修会・合宿セミナーの全期間参加が可能な方
- (5) 当該事業に参加経験がある方は応募できません。 ※ 語学能力は問いません。

● 諸経費(当機構にお支払いいただく経費)

参加金： 109,000円

- (1) 参加金は、ドイツ往復航空賃の一部に充当されます。なお、ドイツ国内でのプログラムにおける宿泊費、全食事、移動交通費はドイツ連邦政府が負担します。
- (2) 事前研修会・合宿セミナー参加にかかる宿泊費・食費は、無料です。なお、国立オリンピック記念青少年総合センターまでの往復交通費は、事前研修会・合宿セミナー実施後、当機構の規定により参加者指定の銀行口座に振込みにてお支払いします。
- (3) 成田空港までの往復交通費、ドイツの機関・団体等への資料・お土産代、プログラム中に提供される食事以外の飲食費、渡航中の海外旅行保険加入(必須)は、別途自己負担となります。

● 応募方法

平成23年6月30日(木)(必着)までに当機構教育事業部国際・研修支援課へ提出書類を郵送または持参してください。

● 提出書類

「提出書類について」を参照ください。

- (1) 申込書B(1通)
- (2) 「参加志望動機」(1通)
- (3) 健康診断書(1通) ・巻末の様式をご参照ください。
- (4) 返信用封筒(2通)

● 参加決定について

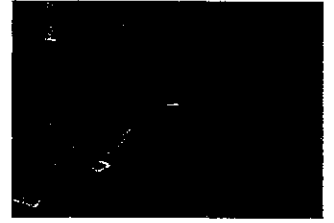
提出書類を基に厳正な選考を行い、選考結果は7月中旬をめぐりに文書で連絡いたします。

主な研修内容

- 全体研修(講義・市内歴史研修など)
ドイツの社会制度、文化や歴史などについて理解を深めます。
- 青少年関連施設等訪問(高校・ベルリン児童連合など)
ドイツにおける青少年団体活動、青少年援助、社会参画について学びます。
- 合宿セミナー
今年度ドイツから日本に派遣される団員とのディスカッションを通して、社会参画やリーダーシップについての考えや生活の違いなどを2泊3日で学びます。
※派遣と受入で計2回のディスカッションを実施
- ホームステイプログラム
ドイツの日常生活や考え方を理解することを目的として、ドイツ人家庭に2泊3日滞在します。



交流会



班別ディスカッション

プログラム参考例 平成22年度 日独学生リーダー交流

※ 昨年度の例であるため、今年度は、受入団体等の都合により滞在都市、プログラム等が異なる場合があります。

日数	滞在地	研修日程
1	日本 ベルリン	午前 成田空港発 ベルリン着後ホテルへ
2	ベルリン	午前 講義「ベルリン日独センター紹介」 午後 「ドイツにおける青少年団体活動および支援事業(青少年援助)概略」
3	ベルリン	午前 ベルリン市内研修 午後 ベルリン児童連合訪問
4	ベルリン郊外	午前 自主研修 終日 合宿セミナー 交流会
5	ベルリン郊外	午前 ラーヴェンスブリュック警告・追憶の場所(強制収容所跡)見学 午後 班別ディスカッション
6	ベルリン郊外	午前 班別ディスカッションの続き 午後 全体会(班別ディスカッションの成果発表)
7	ベルリン	午前 自主研修 午後 スポーツクラブ「ロタツィオン・プレントラウアーベアク」
8	ベルリン ドレスデン	午前 日本団ミーティング 午後 ドレスデン旧市街観光
9	ドレスデン	午前 民主主義と勇気ネットワーク ドレスデン支部訪問 午後 ドレスデン市青少年消防団訪問(ゴムピッツ消防署ボランティア活動視察)
10	ドレスデン	午前 自主研修 午後 児童・青少年ハウス「マライケ」訪問
11	ドレスデン	午前 「若者の社会参画について」質疑応答 午後 ホームステイ
12	ドレスデン	終日 ホームステイ
13	ドレスデン	午前 ホームステイ 午後 全体評価会 歡送交流会
14	ドレスデン ウィーン	午前 ドレスデン発 ウィーン空港着発
15	日本	午前 成田空港着、解散

(参加者の声)

- 自分の内面を見つめ直すことができ、今後の人生における身の振り方を学んだ。ドイツと似ているところが多いので所属ボランティアで活かしていきたい。
- (若者の社会参画について) 社会に対して何か関わりを持つとすることが社会参画だと考えていたが、それだけではなく何か向上させるよう、変化しようとする気持ちも大事。
- (リーダーの資質について) 今までには正直リーダーとしての自信がなくただ名前だけという意識があった。しかし今回の研修を通して色々なリーダーと交流することができ、自分らしさをみつけることができた。自分らしさを活かしながらメンバー同士で自分に無いものを補ってあげれば良いということに気づいた。